

## 市長と話そう！「ふれあいトーク」意見交換の概要（下野更生保護女性会）

### （参加者）

- ・下野更生保護女性会は、地域社会の安全と福祉に貢献するため、長年にわたり地域の皆様のご理解とご協力のもと、さまざまな活動に取り組んできました。
- ・コロナ禍以前は、PTA 総会や学年懇談会などの際に、各学校へお伺いし、お子さんをお預かりする学校ボランティアを行っていました。折り紙をしたり、宿題を見たりしながら、保護者が安心して会合に参加できる環境づくりをお手伝いしていました。
- ・小学校の新 1 年生には、毎年チューリップの球根を 1 球ずつ贈呈しています。中学校にはまとまった数の球根をお届けしています。また、市内の公共施設などにもチューリップを植栽してもらい、新入学の時期に美しい花が咲き誇るようにしています。この活動を通じて、自分たちの育てた花を見て喜びを感じ、地域への愛着と温かい心を育むことを願っています。
- ・南河内地区では、長年にわたり祇園交番の警察官と共に、かましん周辺を中心に地域パトロールを実施しています。パトロールでは、チラシや夜間の安全に役立つ反射材などを配布しながら、市民の皆さんに詐欺被害の防止や空き巣対策などについて注意喚起を行っています。
- ・更生保護施設、ダルク、養護施設の 3 施設を毎年順番に訪問しています。訪問時には、県や市からの補助金、または皆さまからの寄付としていただいた日用品や野菜、衣類などを持ち寄り、施設の方々の生活に必要なものを提供しています。施設の方々の様子を伺いながら、社会復帰への支援を行っています。

### （参加者）

- ・更生保護女性会は全国的な組織であり、県の会議や集い、研修会に参加しています。
- ・令和 4 年度に、県から「県との連携を強化し、地域との連携を図りながら新たな活動に取り組み、その成果を研修会で発表する」という依頼がありました。役員会で話し合った結果、「下野市児童表彰条例（子ほめ条例）」に着目し、「子褒め活動」を実施することになりました。

### （市長）

- ・「児童表彰」について、先生方の負担があることも伺っていますが、表彰された子どもたちの誇らしそうで嬉しそうな表情を見ると、「みんなの頑張りをちゃんと見ているよ」というメッセージが、この表彰を通じて子どもたちに伝わっていると実感します。
- ・誰かに認められる喜びは、子どもたちの自信と成長の大きな糧となるはずです。

### （参加者）

- ・「子褒め活動」は、役員会で「ぜひ継続してほしい」という積極的な賛成がありましたので、3 年連続で実施しました。
- ・子どもたちに「褒めてほしいこと」「褒められたこと」について、アンケートを実施しています。
- ・令和 6 年度のアンケートでは、「褒めてほしいこと」と「褒められたこと」という 2 つの質問において、「学校に頑張っていることを褒めてほしい」という声が上がりました。これは、子どもたちが日々の努力を誰かに認めてもらいたいと強く願っていることの表れかもしれません。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「褒められたこと」の回答の中に、「生きていることを褒められた」という言葉がありました。きっと日頃からお子さんの存在そのものを大切に思い、その頑張りをしっかりと見守っていらっしゃるのだと感じました。私たちの活動の意図がしっかりと伝わっていることに深い感銘を受けました。</li> <li>・令和5年度のアンケートでは、「一度も褒められたと感じたことがない」というお子さんがいました。この事実焦点を当て、アンケートのまとめでは、子どもたちが褒められないことで抱える寂しさや心の痛みを伝えました。</li> <li>・9月の忙しい時期にアンケート結果をまとめることは、容易な作業ではありませんが、私たちにとっても貴重な経験となっています。</li> </ul> |
| <p>（参加者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代のお父さんたちは、積極的に子育てに関わろうと、大変努力されているのではないかと感じています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>（市長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代は共働きの家庭が多いため、夫婦が協力して家事や育児を分担するのは当然の流れだと認識しています。</li> <li>・何よりも子どもと過ごす時間は、本当に楽しいものです。</li> <li>・私も第二子の際に、3週間の育児休暇をいただきました。</li> <li>・育児休暇の期間中は、子育てはもちろんのこと、家族との対話を通じて、今後の生活やさまざまなことを見つめ直す、非常に良い時間になったと感じています。</li> </ul>                                                                                                   |
| <p>（参加者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代は不登校を始めとするさまざまな教育課題が顕在化しています。</li> <li>・発達障害を持つお子さんの場合、一律的な教育方法では対応が難しく、周囲も気づかずに適切な支援につなげられないケースも少なくありません。</li> <li>・自己肯定感の低さは、高い学歴や就職といった成功を手に入れても、社会生活におけるさまざまな場面で挫折につながる恐れがあります。</li> </ul>                                                                                                                           |
| <p>（市長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できれば子どものうちに、自分の良いところに気づき、自信を持って歩んでほしいと願っています。</li> <li>・自分の本当にやりたいことや、自分の力を最大限に発揮できる場所をより早く見つけ、充実した人生を送ることができるのではないかと考えています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                     |
| <p>（参加者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育で多くの子どもたちと接したり、アンケートを通じて子どもたちの声に耳を傾けるようになって、改めて子どもを見る視点が変わったように思います。ささいなことでも褒める機会が増えました。</li> <li>・保護者の方への伝え方も変わりました。まず、良い点を一つ伝えるようにしています。その一言あるだけで、その後の課題点も受け入れてもらいやすくなるのです。</li> </ul>                                                                                                                               |
| <p>（市長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童表彰」は、子どもたちの自己肯定感を育む上で非常に重要だと考えており、今後も継続して実施していきます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>（参加者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭に居場所を感じられないお子さんもいるかもしれません。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・そうした子どもたちのために、自分の好きなことをしたり、本を読んだり、友達と話したり、外をぼんやり歩いて自分を見つめ直す時間を持てる居場所が必要ではないかと感じています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートセンターのあり方について、まさにその通りだと感じています。</li> <li>・子どもたちだけではなく、高校生以上、または大人の方々にとっても、居場所がないと感じているの方々には同様に必要な支援だと考えています。</li> <li>・そうした方々への居場所づくりも視野に入れつつ、今後の支援のあり方を検討していきたいと思います。</li> </ul>                                                                                                                          |
| <p>(参加者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下野市のふるさと納税の状況について、全国の方々が興味を持ち、納税したくなるような特色ある返礼品がどれほどあるのか、少し気になっています。</li> <li>・高齢者の中には、インターネットでの手続きが難しいと感じている人も多く、ほとんど利用したことがないため詳しく知らないという意見をよく耳にします。</li> <li>・一方で、若い世代の方々はふるさと納税を積極的に活用しており、冷凍食品など返礼品そのものの魅力に惹かれて選ぶ傾向があります。</li> <li>・下野市には素晴らしい企業がたくさんあります。それらの企業の訳あり商品も、十分に魅力的な返礼品になると思います。</li> </ul> |
| <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税額は着実に増加傾向にあります。</li> <li>・返礼品については、さらに魅力的なラインナップになるよう、市内の企業への働きかけを続けていきます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>(参加者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代は、インターネットやスマートフォンを通じて様々な情報を収集し、福祉関係の助成金や支援制度などを丹念に調べて子育てに役立てています。</li> <li>・一方で、高齢者の方々にとって、主な情報源は文字で書かれたものや、直接の対面コミュニケーションに限られる傾向があります。</li> <li>・総合案内において、市民が「こういうことで困っているのですが、何か利用できる制度や窓口はありますか」と相談した際に、すぐに適切な回答を提供できる担当者がいる体制になっていますか。</li> </ul>                                                   |
| <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合案内と各部署間の緊密な連携体制を構築することが不可欠だと思います。</li> <li>・必要な各部署の担当者が次々と来て、その場で手続きが完了できるような体制を整えることができれば、市民の皆さまの負担を大幅に軽減できるのではないかと考えております。</li> </ul>                                                                                                                                                                    |
| <p>(参加者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更生保護女性会は、長い歴史を持ち、社会にとって非常に重要な役割を担っていると強く感じています。</li> <li>・現状では、その活動内容が一般の方々に十分にされていないのが実情です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                     |
| <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更生保護女性会の素晴らしい活動を市民の皆さんに広く知っていただくことは、非常</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                            |

に重要だと考えております。さまざまな媒体を活用した広報活動について、検討していきたいと思います。